



今を大切に

▼7月1日（金）の続き

今回は「魔術化する科学」。面白そう。

- 2 生物 RNAのヌクレオチド
ついて行けていない人多し。
- 3 地理 地図を用いた地形図
●●くんのコナン愛を知った。
- 4 英表 受動態について
今後、前期は外国人の先生が来ないそう
うで、悲しい（TT）
- 5 日本史 調・庸・雑徭
昔の税、いと重し。
- 6 コミュ英 タイガー
discussing is difficult
- 7 古典 丹波に出雲といふ所あり
●●くんの画力、いとうつくし。

○今日、私の中で大事件が起きた。弁当箱に箸を忘れたのだった。しかし、16Rの某女子が助けてくれた。SNS上のみつながりであったのに、いい人だなと思った。

*

金曜日の●●くんの記事では、何が「大事件」なのか？ 最初「箸を忘れた」ことだと思ったが、実は「16R女子との出会い！」だったのだろうか。幸せを祈る。

ところで、第二回目の個人面談を始めた。もちろん、話題は前期中間考査である。よって、早く終わる人は、あっという間に終わってしまう…つまり「この調子で努力を継続しよう」である。一方、早く終わらない人は（笑）、今回の結果に関する分析、及び、今後の方針についての説明を求めることになる。自分が早く終わる人か、終わらない人かは、もはや十分に自覚していることと思うので、終わらなそうな人は準備をして面談に臨

むこと。

ただ、何度も書いているように、順位をつけられれば1位から327位までがつくわけだから、大切なことは、その数字にどのような意味づけを行うかということであって、それがしっかり意識できていれば、とやかく言うことはない（…って、赤点についてはとやかく言わざるを得ないが…笑）。

不得意科目は誰にでもあるのだから、それは仕方がないが、だからといって、それを放置するのはよくない。入試は総合力で決まるから、合否において、得意科目よりも不得意科目で勝負を分けることが多い。だから、不得意度をなるべく小さくする努力を継続すべきなのである。しかも、まだ1年生の夏休み前である。今までにやり残したことがあると感じていることがあっても、それは充分に取り返すことが可能である。ぜひ、比較的余裕のある今の時期と夏休みを活用して、自分の弱点を克服するように努めよう。

同時に、第56号に紹介した「不合格体験記」の、「毎日の予習・復習のリズムを守ること、そして苦手科目をなくすこと。あとは、毎日十分な睡眠をとって授業を大切にすること。細かいことは気にせず、とりあえず勉強すること」というアドバイスを噛みしめて、まずは目の前の授業、そして小テストにしっかり取り組むことをコツコツと継続してほしい。●●さんが「(古文) 単語をかなり忘れていた」と書いていたが、忘れているのと、まったくやっていないのでは大違いである。その違いに気づくのが3年になった時なのである。だからこそ、今を大切にしよう。